

# これなら書ける！ 志望理由書 書き方講座(基本編)

「志望理由書」とは、志望する大学に対して、自分がどうして志望したのか、その理由を伝えるものです。大学で何を学びたいか、大学での学びを活かして将来どんな仕事に就きたいか、自分の考えを分かりやすく、そして迫力のある文章で、読み手に伝えることが大切です。

大学では専門分野に対して自学自習の姿勢が求められます。そのため、自分が目指そうとする学問の分野や就こうとする職業への理解が浅いと、方向が定まった文章が書けません。大学の資料などを参考にして、あなたが興味や関心のある事柄についての情報を収集しましょう。

## ☆志望理由書の基本は四部構成

説得力のある文章にするには、構成を考えて組み立てなければいけません。順序に沿って四部構成（意志提示→きっかけ→社会的意義→全体のまとめ）で書けば、首尾一貫して全体としてまとまった文章になるため、説得力が出ます。

ではまず、あなた自身の意見をまとめるための情報収集を行いましょう。それぞれの項目に沿って、箇条書きでいいので、思い浮かんだことをできるだけたくさん書いてみましょう。

### ① 意志提示

進学したい大学（学部・学科・コース）で、「何を学びたいか」を一文でまとめましょう。志望理由書では、一番大切なことを書きこぼさないよう、伝えたいことは最初に明記しておくことが大切です。※自分の志望大学、学部、学科についてインターネットや学校案内のパンフレットなどで詳しく調べておきましょう。

### 〇〇大学、商学部、マーケティング学科の場合

商品の売買を通じて利益を得る事業に関する理論や方法を学ぶ。

顧客のニーズをつかんで有利に商品を販売する方法（マーケティング）や、人・物・サービスの流通における問題点を研究する。

例 私は、貴大学のマーケティング学科に入学し、マーケティング・流通の理論を学び、望ましい経営の形を試算できる「経営予測シミュレーションシステム」を開発していきたい。

### ② きっかけ

「～になりたい（したい）」と思った具体的な考えの根拠となる「きっかけ」を、これまでの自分の個人的な体験や見聞をもとに、できるだけ具体的に書きましょう。

- ・体験：自分自身が実際に体験した出来事
- ・見聞：他の人からの話、ニュースや書籍からの知識

例 長引く日本の景気低迷は深刻な問題である。ニュースや新聞においても、連日のように、失業率の悪化や非正規雇用率の上昇を懸念する記事が掲載されている。それを激化させているデフレ経済を打破し、先行きの見えない日本経済を少しでも立て直したいと思う。

！ 体験や見聞は、あれこれとたくさんあげるのではなく、一つにしぼって、詳しくまとめるようにしましょう。

### ③ 社会的意義(社会との関わり方)

将来希望する仕事やしたいことが、社会的にどんな意味があるのかを書きましょう。やる気とまじめさをアピールするには、この社会的意義をまとめることがとても大きな役割を果たします。社会の問題点に触れ、それに対する自分なりの策を示しましょう。

例 日本の景気を回復させるためには、経済が活発にならないと。そのためには企業が安心して経営できる情報やシステムが必要なのである。いくらよい商品を作っても、それが流通という生産者から消費者へ販売するための物、貨幣、情報の流れにうまく乗れなければ、経済を活発にすることはできない。つまり、経済の活性化のためには、この流通についての情報やシステムを構築することが必要なのだ。そのためには、人、物、金の動きを実践的に学べる商学部で学びたい。

### ④ 大学の魅力・全体のまとめ

最後となる第四部では、志望大学ならではの特徴を、よりの確につかんでおくことが重要です。また、学ぶ場としての魅力やほかの大学にはない魅力についても考えてみましょう。

例 学問を学ぶ上で、貴大学の充実した指導者陣、学習環境は私の人間的成長、夢の実現にはなくてはならない学習の場だと考えています。貴大学で人間的な成長をすることによって、社会に役立つ、信頼される社会人になりたいと思う。

では、はじめての志望理由書を原稿用紙に書いてみましょう。